

金型調査から

「IT活用」20%

▷2<

樹脂・プレス金型製作 七・六割減少した。「成
のクライム・ワークス(東 型機や工作機械の新技術
京・大田)は、二〇〇四 導入」(二八・八%)も
年から金型設計に樹脂流 多いが、最も増えたのは
動解析ソフトを導入し 「情報技術(IT)を使
た。溶けた樹脂を金型に い試作や解析、生産管理
流し込む様子をシミュレ を高度化」
ーションし、試作回数や (二〇・〇
開発期間を短縮する。山 %だ。
口誠二社長は「三日かか
っていた試作が二日でで
きる」と話す。

・ワークスを始め、複雑も五軸加工機が有効だ。
な部品加工や量産成型を キャンブレイン(東京
手がけるため、成型機や ・江戸川)は三方所の工
金型調査で「技術力強 場の状況をパソコンで確
化・多角化のために取り 認できる仕組みを導入し 器の脇に取り付けた。百
組んでいること」は、「高 業は多い。受注量が増え 三十三倍に拡大、図面な 田実社長)と人手不足を
精度・微細加工」が三 一と各社がみる航空・宇 認できる。本工場(同)に ども見られる。「現在従 業員は二十人いるが、当
・二%(複数回答)と最 宙、燃料電池などの精密 は計四台のウェブカメラ 今では中国に生産拠点を持
も多かったが、前より な一体型製品の金型製作 を工作機械や三次元測定 初は三人。自分が営業か

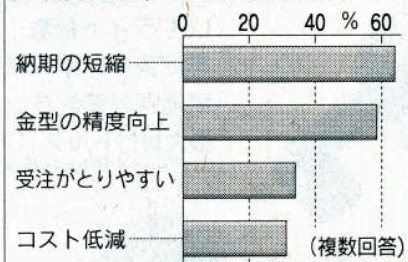
航空や燃料電池向け期待

投資負担、中小の重荷に

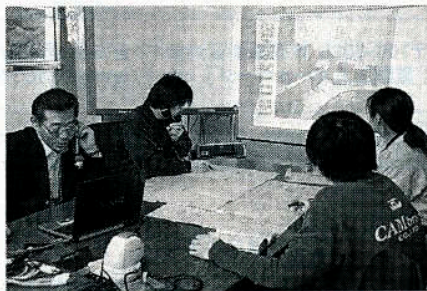
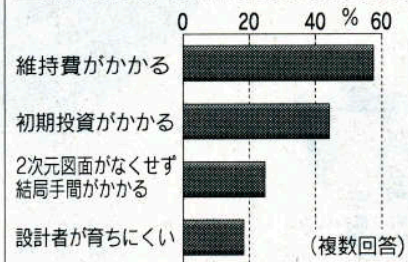
アルタイムで現場を見
せ、受注獲得につながっ
ているという。
自動車用ダイカストを

手がかかる小出製作所(静
岡県磐田市)は金型の基
礎的な知識を検索できる
システムを拡充してい
る。熟練技能者が中心と
なり、工具の選び方など
を解説、社員はネット
検索する。「基礎的な知
識を伝えている時間が
ない」(小出悟社長)た
め、熟練技術者の技能を
データベース化する。
調査では、設備投資を
前期並みとする企業が
増えるなかで、CAD/C
AM(コンピュータに
よる設計・製造)と工具
への投資は増えた。工具
は一〇・七%と前回の約
十倍。チタンなどの難削
材の金型製作や、複雑な
部品加工に乗り出す企業
が増えていることに関係
がある。
新製品の世界同時立ち
上げや、部品の納期短縮
に向け、金型業界にも三
次元CADも、徹底的に使
いこなすことが投資回収
の早道となる。

三次元CAD/CAMを使うメリット



三次元CAD/CAMを使う際の課題



キャンブレインは、離れた事業所の状況や図面をオンラインで確認することができる

機械・環境